

SHIGI で実現するデジタルサイトロロジー

細胞診標本は病理標本に比べて厚みがあるため、デジタル化が困難であった。病理組織標本向けのホールスライドスキャナには Z スタック機能を有する製品も存在するが、撮影時間やデータ量、画質の面で細胞診標本への応用に関しては限界がある。当社ではこれらの課題を解決できる 3D ホールスライドスキャナ SHIGI を開発した。40 レイヤーの画像を高速で撮影し、画像をリアルタイムで高度に圧縮する技術を組み込むことで細胞診ワークフローのデジタル化を実現する。また、収集した画像から細胞診支援 AI の開発も進めている。本セミナーでは当社のデジタルサイトロロジー実現に向けての取り組みを紹介する。